

令和 3 年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：林業総合センター 木根館

指定管理者名：大阪府森林組合

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	S	S
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	S	S
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	S	S
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	S	S
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	B	B
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	S	S
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	S	S
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	S	S
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	S	S
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	S	S
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	S	S
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	S	S
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	S	S
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	S	S
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

## 2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	650,000	382,200	267,800	473,500	
	自主事業収入	4,000,000	3,927,667	72,333	6,276,721	
	物品販売収入			0		
	手数料収入			0		
	指定管理料	10,770,000	10,869,476	-99,476	11,284,568	
	その他収入		109	-109		
	<b>収入総額</b>	15,420,000	15,179,452	240,548	18,034,789	
支出	人件費	9,075,000	9,575,666	-500,666	9,042,018	
	事務費	3,102,000	2,586,910	515,090	2,514,643	
	管理費	409,200	323,514	85,686	289,774	
	自主事業経費	1,980,000	1,606,354	373,646	3,054,489	
	光熱水費	550,000	1,040,847	-490,847	917,712	
	リース料	102,300	33,660	68,640	16,335	
	その他			0		
	<b>支出総額</b>	15,218,500	15,166,951	51,549	15,834,971	0
<b>収支差額</b>	201,500	12,501	188,999	2,199,818	0	

## 3. 総合評価

## 自己評価

昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ゴールデンウィークを含む春の行楽シーズンに臨時休館となったことや多目的室の利用定員を約半数にするなどの影響により、利用料金収入や利用者数を積極的に伸ばすことはできなかった。また、コロナ禍による外出自粛の影響もあり、多目的利用者は、昨年度比約3割減となり、大会議室、小会議室の利用者数も伸び悩んだことから、コロナ禍でいかに利用者数を維持するかが喫緊の課題である。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いている時期は、小学校の遠足利用などもあり、今までの広報活動が実を結んできたと考えられる。

施設面においては、老朽化による修繕箇所も増えつつあり、臨時休館期間を利用し、木部を中心に、木根館スタッフ及び森林組合職員にて修繕を行った。

新型コロナウイルスの感染拡大等による不安定要素が数多くあったが、市やスタッフ間の連絡を密にとり、適切な対応を行うことができた。

## 市評価

令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染対策を実施しながら施設運営を行う1年間であった。新型コロナウイルスの感染状況は予測がつかないところがあるが、今後も市と指定管理者が連携して林業振興としての施設の役割を果たしながら時代に合った施設運営をなされたい。

また、施設の修繕等についても建築ノウハウを活かした丁寧な修繕により持続的な施設運営がなされていると評価する。今後も定期的な修繕と事故の未然防止対策を施しながら、安全な施設運営を求める。